

(様式1)

平成27年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 151	提案機関名 よこすか葉山農業協同組合
要望問題名 三浦半島ウリ科野菜におけるうどんこ病の農薬感受性調査について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 近年の傾向として、夏期に降水がほとんど無い期間が続き極端に乾燥することが多い。このような気象条件下でウリ科野菜におけるうどんこ病の多発により果実の品質低下などの被害が目立っている。現地では、農薬散布による防除を行っているが、感受性が低下しているような薬剤も見られる。こうしたことから、定期的な農薬感受性調査の実施データに基づく効率的かつ効果的な防除が必要となっている。  カボチャ作付面積 横須賀市70ha (平成18～19年神奈川農林水産統計年報) スイカ作付面積 横須賀市35ha (平成18～19年神奈川農林水産統計年報) メロン作付面積 横須賀市13ha (平成17～18年神奈川農林水産統計年報)	
解決希望年限	①1年以内      ②2～3年以内      ③4～5年以内      ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	三浦半島地区事務所研究課・ 生産環境部病害虫研究課
担当者名：原康明・折原紀子 電話番号：046-888-3385・0463-58-0333      F A X 番号：046-888-1509・0463-58-04254			
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
うどんこ病は当地域で夏期に生産されているカボチャ、スイカ、メロンにおいて重要な病害です。そこで、特に問題が大きいカボチャについて、現場で感受性低下が疑われている薬剤を中心に三浦半島地区事務所内の試験ほ場を使って薬効試験を実施しますので、感受性の低下に関する情報提供をお願いします。また、カボチャのうどんこ病については2006年に三浦半島地域でDMI剤耐性菌に対する遺伝子診断を実施し、中度感受性と低度感受性型が混在していることが確認されています。試験の結果、DMI系薬剤の薬効が低い結果であれば、再度遺伝子診断を実施します。 なお、うどんこ病は、ほ場に蔓延してしまうと治療効果が高いとされる薬剤であっても防除は極めて困難です。初期病徴を見逃さず、適期に防除するよう生産者へのご指導も合わせてお願いします。			
解決予定年限	①1年以内      ②2～3年以内      ③4～5年以内      ④5～10年以内		
備考			